共育コミュニティ

ともに育つ、ともに育てる

こどもと地域をつなぐプラットフォーム
みんなでまなび
みんなではぐくむ
はしもとし
共育コミュニティ

学校×家庭×地域

つながりが未来をつくる

本画像は生成 AI を使用して作成しています

橋本市立のすべての小学校と中学校は、
学校生活を通じて地域の皆さまから多くのご支援を受けながら、
学習や体験活動を行っています。
その中心となっているのが、「共育コミュニティ」の活動です。

「教育？共育？」

「教育」ではなく「共育」の言葉になっているのは、学校と地域の方々が共に協力し、人と人をつなげながら元気な地域をつくる活動となっているからです。子どもも大人も共に育ち育て合うことを大切にし、地域全体で支え合いながら前進しています。

「授業支援」

ミシン補助や浴衣の着つけ、米作りや野菜作り、町たんけんやキャリア教育などのサポートに加え、新入児童の給食や下校補助、九九の聞き取りや図書室の環境整備もしています。

「ふれあいルームなどの居場所づくり」

放課後の居場所づくりとして、放課後に学習できる環境を整えることや、市内の小学校すべてで「ふれあいルーム」を実施しています。ふれあいルームでは、工作やボードゲーム、スポーツ活動を行うなど、子どもたちが安心して過ごせる場を提供しています。

「活動を支える仕組み」

橋本市では、「共育コーディネーター」を14名、「ふれあいルームコーディネーター」を10名委嘱し、これらの活動の中心となっていただいています。
また、令和7年度では、のべ4,200人以上の地域ボランティアが参加してくださいました。

「地域づくり」

共育コミュニティの最大の目的は、「学校を核とした地域づくり」です。この活動を通じて「人と人とのつながり」が生まれることは、地域のつながりが生まれることにもなります。
また、地域のボランティアだけでなく、中高生や大学生による学生ボランティアの参加は、「支えてもらう側」から「支える側」へ成長する好循環を生み出す大切な存在です。
さまざまな活動を通して、地域に支えられ、認められる経験は、地域愛を育むきっかけにもなり、児童・生徒たち自身が「参画」をテーマに活動するなど、積極的な姿勢が見られています。

「私もこの活動に参加してみたい！」
「児童生徒の力になりたい！」
「地域づくりを盛り上げたい！」
「もうちょっと詳しく知りたい！」という方は、
お気軽に生涯学習課までご連絡いただければと思います！

【橋本市教育委員会生涯学習課　0736-33-6112】

↑共育コミュニティHP

↑ふれあいルームHP